

隠者の小道 - VIA AD HOMINEM SOLITARIUM -

倉石 清志

西暦289年のローマ帝国。

その威光の陰りが顕著になった時代。

イタリア半島の巨神山。偶然と必然の記憶。〈隠者の小道〉。

巨神山に通じる岩山の山道。山頂に住まう一人の隠者。

その名はアルカディウス。縁ありて訪ね人きたる。

神々の天空に近き山巔において哲学的〈対話〉が始まる。

